



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

会社名 ニッパン（日発販売株式会社）
代表者名 代表取締役社長 石川 隆 重
コード番号 7563 東証 2 部
問い合わせ先 取締役常務執行役員管理本部長 佐々木 孝
(TEL. 03-5690-3001)

(訂正)「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、本日（平成 22 年 5 月 14 日）付で、下記のとおり過年度決算短信等の一部訂正を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯

平成 22 年 3 月 4 日付「当社元従業員による不正取引に関するお知らせ」、平成 22 年 3 月 11 日付「外部調査委員会設置に関するお知らせ」、平成 22 年 4 月 28 日付「外部調査委員会調査報告及び責任者の処分に関するお知らせ」及び平成 22 年 5 月 14 日付「過年度決算短信等の一部訂正について」をご参照下さい。

2. 訂正を行う決算短信等

- ・ 平成 21 年 1 月 27 日付 「平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信」

以 上

[訂正前] (1ページ)

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月27日

上場会社名 ニッパン(日発販売株式会社) 上場取引所 東証二部
 コード番号 7563 URL <http://www.nippan-inc.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 石川 隆重
 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々木 孝 TEL (03)5690-3005
 問合せ先責任者
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	30,894	—	632	—	632	—	288	—
20年3月期第3四半期	32,968	△1.8	750	△22.3	774	△20.2	424	△22.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	12	83	—	—
20年3月期第3四半期	18	66	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭
21年3月期第3四半期	21,888		6,284		28.5	279	76
20年3月期	21,071		6,465		30.4	281	31

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 6,228百万円 20年3月期 6,405百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末	年間		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
20年3月期	—	—	3	00	—	—	4	00	7	00
21年3月期	—	—	3	00	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	3	00	6	00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	38,000	△14.2	610	△43.4	610	△43.5	260	△57.1	11	55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

[以下省略]

[訂正後]

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月27日

上場会社名 ニッパン(日発販売株式会社) 上場取引所 東証二部
 コード番号 7563 URL <http://www.nippan-inc.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 石川 隆重
 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 佐々木 孝 TEL (03)5690-3005
 問合せ先責任者
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21年3月期第3四半期	30,894 —	568 —	569 —	225 —
20年3月期第3四半期	32,968 △1.8	677 △23.9	701 △21.6	351 △25.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10 02	— —
20年3月期第3四半期	15 45	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	21,632	6,012	27.5	267 55
20年3月期	20,894	6,256	29.7	272 15

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 5,956百万円 20年3月期 6,196百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	— —	3 00	— —	4 00	7 00
21年3月期	— —	3 00	— —	— —	— —
21年3月期(予想)	— —	— —	— —	3 00	6 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	38,000 △14.2	610 △37.0	610 △37.2	260 △47.7	11 55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

[以下省略]

〔訂正前〕(2ページ)

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機が予想を超えるスピードで世界経済を失速させ、株式市場は急落し急激な円高とともに、国内外の需要の冷え込みから自動車・電機・素材の各産業において生産調整が拡大し設備投資も抑制され、先行きの不透明感から個人消費も冷え込み、急速に後退局面に入りました。

当社グループ各事業とも景気後退の影響を大きく受けました。オートパーツ事業では、補修用部品の需要減に加え、新車販売の不振による架装部品等の落ち込みや暖冬により、売上を伸ばすことができませんでした。プレシジョンパーツ事業では、主な納入先である自動車部品メーカー各社が完成車メーカーの生産計画見直しにより大幅な生産調整に入ったため、受注が大きく減少しました。IT事業では、各企業の設備投資、情報投資抑制傾向の強まりにより、苦戦を強いられました。

その結果、当第3四半期累計の売上高は、30,894百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益632百万円(前年同期比15.8%減)、経常利益632百万円(前年同期比18.3%減)、四半期純利益288百万円(前年同期比32.0%減)となりました。

尚、前年同期比は参考として記載しております。

当第3四半期におけるセグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

(前年同期比は参考として記載しております)

〔オートパーツ事業〕

当事業部門の商品は、自動車補修部品の「自動車用部品用品」「自動車用ばね」であります。

自社ブランドであるグリーン商品の売上は増加したものの、冬物商品や、サブタンク・大型ホイール等の大型車向けの部品の売上が落ち込み、売上高10,977百万円(前年同期比2.9%減)、営業利益117百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

〔プレシジョンパーツ事業〕

当事業部門の商品は、「精密機械加工品」「ファスナー」「精密ばね」「産業機器用部品」であります。

自動車産業向けの精密加工品、ファスナーの売上が落ち込み、売上高17,585百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益523百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

〔IT事業〕

当事業部門の商品は、「情報関連」「加工関連」「機材設備関連」であります。

液晶ディスプレイやソフトウェアなどの設備・情報関連商品の売上が落ち込み、売上高2,331百万円(前年同期比4.2%減)、営業損失8百万円となりました。

〔訂正後〕

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機が予想を超えるスピードで世界経済を失速させ、株式市場は急落し急激な円高とともに、国内外の需要の冷え込みから自動車・電機・素材の各産業において生産調整が拡大し設備投資も抑制され、先行きの不透明感から個人消費も冷え込み、急速に後退局面に入りました。

当社グループ各事業とも景気後退の影響を大きく受けました。オートパーツ事業では、補修用部品の需要減に加え、新車販売の不振による架装部品等の落ち込みや暖冬により、売上を伸ばすことができませんでした。プレシジョンパーツ事業では、主な納入先である自動車部品メーカー各社が完成車メーカーの生産計画見直しにより大幅な生産調整に入ったため、受注が大きく減少しました。IT事業では、各企業の設備投資、情報投資抑制傾向の強まりにより、苦戦を強いられました。

その結果、当第3四半期累計の売上高は、30,894百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益568百万円（前年同期比16.0%減）、経常利益569百万円（前年同期比18.8%減）、四半期純利益225百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

尚、前年同期比は参考として記載しております。

当第3四半期におけるセグメント別の営業概況は、次のとおりであります。

（前年同期比は参考として記載しております）

〔オートパーツ事業〕

当事業部門の商品は、自動車補修部品の「自動車用部品用品」「自動車用ばね」であります。

自社ブランドであるグリーン商品の売上は増加したものの、冬物商品や、サブタンク・大型ホイール等の大型車向けの部品の売上が落ち込み、売上高10,977百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益117百万円（前年同期比21.6%減）となりました。

〔プレシジョンパーツ事業〕

当事業部門の商品は、「精密機械加工品」「ファスナー」「精密ばね」「産業機器用部品」であります。

自動車産業向けの精密加工品、ファスナーの売上が落ち込み、売上高17,585百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益460百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

〔IT事業〕

当事業部門の商品は、「情報関連」「加工関連」「機材設備関連」であります。

液晶ディスプレイやソフトウェアなどの設備・情報関連商品の売上が落ち込み、売上高2,331百万円（前年同期比4.2%減）、営業損失8百万円となりました。

[訂正前] (3ページ)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は21,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ816百万円増加いたしました。

流動資産は、15,776百万円となり、914百万円増加いたしました。これは、主として商品が599百万円増加したことなどによります。

固定資産は、6,111百万円となり、97百万円減少いたしました。これは、主として投資有価証券が336百万円減少したことなどによります。

当第3四半期末の負債合計は15,603百万円となり、前連結会計年度末に比べ997百万円増加いたしました。

流動負債は、15,378百万円となり、1,066百万円増加いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が1,334百万円増加したことなどによります。

固定負債は、225百万円となり、68百万円減少いたしました。これは、主として繰延税金負債が67百万円減少したことなどによります。

当第3四半期末の純資産は6,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円減少いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が178百万円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ261百万円(21.4%)増加し、1,483百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、640百万円となっております。これは、主としてたな卸資産の増加による支出が651百万円あったのに対し、仕入債務の増加による収入が1,328百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、155百万円となっております。これは、主として有形固定資産の取得による支出が213百万円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、211百万円となっております。これは、主として配当金の支払額が157百万円、自己株式の取得による支出が141百万円あったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月23日に通期業績予想を下方修正しましたが、その後自動車産業をはじめとする納入先各業界での生産計画の見直し、下方修正の動きがさらに悪化し、きわめて厳しい経営環境となっております。この状況は今後しばらく継続するものと見込まれます。

その影響を勘案して通期の業績としては、売上高38,000百万円(前年同期比14.2%減)、営業利益610百万円(前年同期比43.4%減)、経常利益610百万円(前年同期比43.5%減)、当期純利益260百万円(前年同期比57.1%減)と予想を引き下げております。

尚、業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

[以下省略]

〔訂正後〕

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は21,632百万円となり、前連結会計年度末に比べ737百万円増加いたしました。

流動資産は、15,521百万円となり、835百万円増加いたしました。これは、主として商品が639百万円増加したことなどによります。

固定資産は、6,111百万円となり、97百万円減少いたしました。これは、主として投資有価証券が336百万円減少したことなどによります。

当第3四半期末の負債合計は15,619百万円となり、前連結会計年度末に比べ982百万円増加いたしました。

流動負債は、15,394百万円となり、1,050百万円増加いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が1,334百万円増加したことなどによります。

固定負債は、225百万円となり、68百万円減少いたしました。これは、主として繰延税金負債が67百万円減少したことなどによります。

当第3四半期末の純資産は6,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ244百万円減少いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が178百万円減少したことなどによります。

(キャッシュ・フローについて)

当第3四半期末における現金および現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ261百万円(21.4%)増加し、1,483百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、640百万円となっております。これは、主としてたな卸資産の増加による支出が690百万円あったのに対し、仕入債務の増加による収入が1,328百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、155百万円となっております。これは、主として有形固定資産の取得による支出が213百万円あったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、211百万円となっております。これは、主として配当金の支払額が157百万円、自己株式の取得による支出が141百万円あったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月23日に通期業績予想を下方修正しましたが、その後自動車産業をはじめとする納入先各業界での生産計画の見直し、下方修正の動きがさらに悪化し、きわめて厳しい経営環境となっております。この状況は今後しばらく継続するものと見込まれます。

その影響を勘案して通期の業績としては、売上高38,000百万円(前年同期比14.2%減)、営業利益610百万円(前年同期比37.0%減)、経常利益610百万円(前年同期比37.2%減)、当期純利益260百万円(前年同期比47.7%減)と予想を引き下げております。

尚、業績予想数値につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

〔以下省略〕

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

[訂正前]

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,483,856	1,222,128
受取手形及び売掛金	9,313,001	9,467,168
商品	3,765,321	3,165,506
製品	132,177	99,752
その他たな卸資産	26,759	7,515
繰延税金資産	178,386	291,857
その他	885,328	616,353
貸倒引当金	△7,837	△8,087
流動資産合計	15,776,993	14,862,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,596,267	1,637,451
土地	3,067,856	3,067,856
その他(純額)	298,384	132,171
有形固定資産合計	4,962,507	4,837,479
無形固定資産	35,496	39,235
投資その他の資産		
投資有価証券	531,554	868,521
長期貸付金	119,069	114,804
繰延税金資産	119,308	13,156
その他	391,020	376,205
貸倒引当金	△47,463	△40,098
投資その他の資産合計	1,113,489	1,332,589
固定資産合計	6,111,493	6,209,304
資産合計	21,888,487	21,071,500

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,226,025	10,891,786
短期借入金	2,238,299	2,150,021
未払法人税等	45,215	310,857
役員賞与引当金	24,075	30,150
事業清算損失引当金	—	4,324
その他	844,935	925,223
流動負債合計	15,378,550	14,312,362
固定負債		
繰延税金負債	1,035	68,184
退職給付引当金	30,718	38,467
役員退職慰労引当金	193,586	187,041
固定負債合計	225,340	293,692
負債合計	15,603,890	14,606,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,040,345	2,040,345
資本剰余金	1,251,391	1,251,391
利益剰余金	3,104,305	2,973,226
自己株式	△149,747	△7,793
株主資本合計	6,246,294	6,257,170
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,006	191,686
繰延ヘッジ損益	△2,937	△31,126
為替換算調整勘定	△28,190	△12,425
評価・換算差額等合計	△18,120	148,134
少数株主持分	56,422	60,140
純資産合計	6,284,597	6,465,445
負債純資産合計	21,888,487	21,071,500

[訂正後]

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,483,856	1,222,128
受取手形及び売掛金	9,313,001	9,467,168
商品	3,706,359	3,067,131
製品	132,177	99,752
その他たな卸資産	26,759	7,515
繰延税金資産	178,386	291,857
その他	688,313	537,791
貸倒引当金	△7,837	△8,087
流動資産合計	15,521,017	14,685,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,596,267	1,637,451
土地	3,067,856	3,067,856
その他(純額)	298,384	132,171
有形固定資産合計	4,962,507	4,837,479
無形固定資産	35,496	39,235
投資その他の資産		
投資有価証券	531,554	868,521
長期貸付金	119,069	114,804
繰延税金資産	119,308	13,156
その他	391,020	376,205
貸倒引当金	△47,463	△40,098
投資その他の資産合計	1,113,489	1,332,589
固定資産合計	6,111,493	6,209,304
資産合計	21,632,510	20,894,563

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,226,260	10,891,974
短期借入金	2,238,299	2,150,021
未払法人税等	45,215	310,857
役員賞与引当金	24,075	30,150
事業清算損失引当金	—	4,324
その他	860,685	956,723
流動負債合計	15,394,535	14,344,050
固定負債		
繰延税金負債	1,035	68,184
退職給付引当金	30,718	38,467
役員退職慰労引当金	193,586	187,041
固定負債合計	225,340	293,692
負債合計	15,619,875	14,637,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,040,345	2,040,345
資本剰余金	1,251,391	1,251,391
利益剰余金	2,832,343	2,764,602
自己株式	△149,747	△7,793
株主資本合計	5,974,332	6,048,545
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,006	191,686
繰延ヘッジ損益	△2,937	△31,126
為替換算調整勘定	△28,190	△12,425
評価・換算差額等合計	△18,120	148,134
少数株主持分	56,422	60,140
純資産合計	6,012,635	6,256,820
負債純資産合計	21,632,510	20,894,563

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

[訂正前]

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	30,894,921
売上原価	25,522,419
売上総利益	5,372,501
販売費及び一般管理費	4,740,297
営業利益	632,203
営業外収益	
受取利息	3,229
受取配当金	26,862
仕入割引	41,017
為替差益	9,879
その他	12,399
営業外収益合計	93,387
営業外費用	
支払利息	29,869
手形売却損	28,472
売掛債権売却損	15,373
売上割引	11,500
その他	7,550
営業外費用合計	92,766
経常利益	632,825
特別利益	
固定資産売却益	1,106
投資有価証券売却益	1,882
貸倒引当金戻入額	2,862
特別利益合計	5,852
特別損失	
固定資産除却損	1,394
貸倒引当金繰入額	3,000
投資有価証券評価損	54,432
事業清算損	9,401
退職給付制度移行損失	9,288
特別損失合計	77,516
税金等調整前四半期純利益	561,161
法人税、住民税及び事業税	223,557
法人税等調整額	52,358
法人税等合計	275,915
少数株主損失(△)	△3,717
四半期純利益	288,963

[訂正後]

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	30,894,921
売上原価	25,606,006
売上総利益	5,288,914
販売費及び一般管理費	4,720,047
営業利益	568,866
営業外収益	
受取利息	3,229
受取配当金	26,862
仕入割引	41,017
為替差益	9,879
その他	12,399
営業外収益合計	93,387
営業外費用	
支払利息	29,869
手形売却損	28,472
売掛債権売却損	15,373
売上割引	11,500
その他	7,550
営業外費用合計	92,766
経常利益	569,488
特別利益	
固定資産売却益	1,106
投資有価証券売却益	1,882
貸倒引当金戻入額	2,862
特別利益合計	5,852
特別損失	
固定資産除却損	1,394
貸倒引当金繰入額	3,000
投資有価証券評価損	54,432
事業清算損	9,401
退職給付制度移行損失	9,288
特別損失合計	77,516
税金等調整前四半期純利益	497,824
法人税、住民税及び事業税	223,557
法人税等調整額	52,358
法人税等合計	275,915
少数株主損失(△)	△3,717
四半期純利益	225,626

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

[訂正前]

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	561,161
持分法による投資損益(△は益)	△75
減価償却費	111,010
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,115
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,075
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,037
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,545
受取利息及び受取配当金	△30,091
支払利息	29,869
投資有価証券評価損益(△は益)	54,432
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,106
有形固定資産除却損	1,394
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,882
退職給付制度移行損失	9,288
売上債権の増減額(△は増加)	154,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△651,483
仕入債務の増減額(△は減少)	1,328,726
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53,035
その他の資産の増減額(△は増加)	△284,059
その他の負債の増減額(△は減少)	△95,541
小計	1,123,321
利息及び配当金の受取額	28,110
利息の支払額	△29,782
法人税等の支払額	△480,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△213,546
有形固定資産の売却による収入	91,358
投資有価証券の取得による支出	△31,358
投資有価証券の売却による収入	2,470
貸付けによる支出	△10,000
貸付金の回収による収入	6,675
無形固定資産の取得による支出	△648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	88,277
自己株式の取得による支出	△141,954
配当金の支払額	△157,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	261,727
現金及び現金同等物の期首残高	1,222,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,483,856

[訂正後]

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	497,824
持分法による投資損益(△は益)	△75
減価償却費	111,010
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,115
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,075
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17,037
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,545
受取利息及び受取配当金	△30,091
支払利息	29,869
投資有価証券評価損益(△は益)	54,432
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,106
有形固定資産除却損	1,394
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,882
退職給付制度移行損失	9,288
売上債権の増減額(△は増加)	154,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△690,896
仕入債務の増減額(△は減少)	1,328,773
未払消費税等の増減額(△は減少)	△58,173
その他の資産の増減額(△は増加)	△154,956
その他の負債の増減額(△は減少)	△116,803
小計	1,123,321
利息及び配当金の受取額	28,110
利息の支払額	△29,782
法人税等の支払額	△480,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	640,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△213,546
有形固定資産の売却による収入	91,358
投資有価証券の取得による支出	△31,358
投資有価証券の売却による収入	2,470
貸付けによる支出	△10,000
貸付金の回収による収入	6,675
無形固定資産の取得による支出	△648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△155,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	88,277
自己株式の取得による支出	△141,954
配当金の支払額	△157,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	261,727
現金及び現金同等物の期首残高	1,222,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,483,856

〔訂正前〕(8ページ)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業的前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョン パーツ事業 (千円)	IT事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,977,665	17,585,723	2,331,532	30,894,921	—	30,894,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	10,977,665	17,585,723	2,331,532	30,894,921	(—)	30,894,921
営業利益又は営業損失(△)	117,460	523,451	△8,708	632,203	—	632,203

(注) 1. 事業区分は、商品の種類および販売経路の共通性を考慮しております。

2. 各事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
IT事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

3. 会計処理の原則及び手続の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」4に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、プレジジョンパーツ事業で、2,880千円減少しております。

〔以下省略〕

〔訂正後〕

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	オートパーツ 事業 (千円)	プレジジョン パーツ事業 (千円)	IT事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	10,977,665	17,585,723	2,331,532	30,894,921	—	30,894,921
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	10,977,665	17,585,723	2,331,532	30,894,921	(—)	30,894,921
営業利益又は営業損失(△)	117,460	460,114	△8,708	568,866	—	568,866

(注) 1. 事業区分は、商品の種類および販売経路の共通性を考慮しております。

2. 各事業区分の主要商品

事業区分	主要商品
オートパーツ事業	補機用ベルト、タイミングベルト、テンショナーベアリング、エレメント、ワイパーブレード、等速ジョイント、オイルシール、ウォーターポンプ、樹脂ブーツ、燃料タンク、ホイール、マフラー、ブレーキパーツ、ライト・ランプ、建機部品、電装商品、ケミカル類、タイヤチェーン、補修用ばね、モータースポーツ用サスペンション
プレジジョンパーツ事業	インジェクター用部品、精密プレス品、コントロールケーブル、切削品、冷間鍛造品、精密ばね、メカニカルパーツ、ロックヒンジ、ワンタッチバンド、ねじ、ナット、クランプ、金属資材
IT事業	光ファイバーアッセンブリー用部品、光通信デバイス用精密加工品、プラスチック光ファイバー端面加工器、コンピュータ周辺機器、セキュリティ商品・サービス、画像関連機器、ネットワーク関連機器・ソフトウェア、機械装置、測定機器、環境処理装置

3. 会計処理の原則及び手続の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」4に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、プレジジョンパーツ事業で、2,880千円減少しております。

〔以下省略〕

[参考情報]

前第3四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
売上高	32,968
売上原価	<u>27,325</u>
売上総利益	<u>5,643</u>
販売費及び一般管理費	<u>4,892</u>
営業利益	<u>750</u>
営業外収益	119
受取利息	4
受取配当金	25
仕入割引	45
為替差益	7
その他	37
営業外費用	96
支払利息	34
手形売却損	28
売掛債権売却損	14
売上割引	10
その他	8
経常利益	<u>774</u>
特別利益	0
投資有価証券売却益	0
固定資産売却益	0
特別損失	1
固定資産除却損	1
その他	0
税金等調整前中間純利益	<u>773</u>
税金費用	<u>351</u>
少数株主損失	<u>△ 3</u>
中間純利益	<u>424</u>

【訂正後】

[参考情報]

前第3四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

区分	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
売上高	32,968
売上原価	<u>27,416</u>
売上総利益	<u>5,552</u>
販売費及び一般管理費	<u>4,874</u>
営業利益	<u>677</u>
営業外収益	119
受取利息	4
受取配当金	25
仕入割引	45
為替差益	7
その他	37
営業外費用	96
支払利息	34
手形売却損	28
売掛債権売却損	14
売上割引	10
その他	8
経常利益	<u>701</u>
特別利益	0
投資有価証券売却益	0
固定資産売却益	0
特別損失	1
固定資産除却損	1
その他	0
税金等調整前中間純利益	<u>700</u>
税金費用	<u>351</u>
少数株主損失	<u>△ 3</u>
中間純利益	<u>351</u>

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	773
減価償却費	102
貸倒引当金の増減額	△ 16
役員賞与引当金の増減額	△ 10
退職給付引当金の増減額	△ 34
役員退職慰労引当金の増減額	△ 91
受取利息及び受取配当金	△ 29
支払利息	34
有形固定資産除却損	1
売上債権の増減額	△ 519
棚卸資産の増減額	△ 471
仕入債務の増減額	△ 1,005
未払消費税等の増減額	△ 0
その他	11
小計	△ 1,255
利息及び配当金の受取額	27
利息の支払額	△ 34
法人税等の支払額	△ 244
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,506
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△ 12
投資有価証券の売却による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△ 15
有形固定資産の売却による収入	0
会員権の売却による収入	3
無形固定資産の取得による支出	△ 4
貸付金による支出	△ 24
貸付金回収による収入	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額	△ 287
自己株式の取得による支出	△ 1
配当金の支払額	△ 159
少数株主への配当金の支払額	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 449
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 2,004
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	4,217
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,213

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	700
減価償却費	102
貸倒引当金の増減額	△ 16
役員賞与引当金の増減額	△ 10
退職給付引当金の増減額	△ 34
役員退職慰労引当金の増減額	△ 91
受取利息及び受取配当金	△ 29
支払利息	34
有形固定資産除却損	1
売上債権の増減額	△ 519
棚卸資産の増減額	△ 404
仕入債務の増減額	△ 979
未払消費税等の増減額	△ 0
その他	△ 3
小計	△ 1,255
利息及び配当金の受取額	27
利息の支払額	△ 34
法人税等の支払額	△ 244
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,506
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△ 12
投資有価証券の売却による収入	1
有形固定資産の取得による支出	△ 15
有形固定資産の売却による収入	0
会員権の売却による収入	3
無形固定資産の取得による支出	△ 4
貸付金による支出	△ 24
貸付金回収による収入	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額	△ 287
自己株式の取得による支出	△ 1
配当金の支払額	△ 159
少数株主への配当金の支払額	△ 2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 449
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 2,004
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	4,217
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,213

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日) (単位:百万円)

	オートパーツ 事業	アレジジョンパーツ 事業	I T 事業	合計	消去又は全社	連結
売上高	11,308	19,226	2,433	32,968	(—)	32,968
営業費用	11,158	18,667	2,391	32,218	(—)	32,218
営業利益又は損失(△)	149	558	42	750	(—)	750

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）（単位：百万円）

	オートパーツ 事業	アレジジョンパーツ 事業	I T 事業	合計	消去又は全社	連結
売上高	11,308	19,226	2,433	32,968	(—)	32,968
営業費用	11,158	18,740	2,391	32,291	(—)	32,291
営業利益又は損失(△)	149	485	42	677	(—)	677

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

全セグメントの売上高の合計及び全セグメントの資産の合計額に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。